



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 東京テアトル株式会社
コード番号 9633 URL <https://www.theatres.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 和宏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 松岡 毅
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3355-1010

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,775	10.7	211	98.1	231	42.4	282	27.4
2023年3月期第2四半期	7,925	30.8	106		401	9.2	389	38.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 636百万円 (67.1%) 2023年3月期第2四半期 381百万円 (41.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	39.27	
2023年3月期第2四半期	52.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	24,368	12,520	51.2	1,734.84
2023年3月期	23,582	11,986	50.7	1,654.57

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 12,476百万円 2023年3月期 11,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		10.00	10.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	4.2	150	128.2	200	47.6	150	20.2	20.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	8,013,000 株	2023年3月期	8,013,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	821,354 株	2023年3月期	793,354 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	7,195,646 株	2023年3月期2Q	7,412,250 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2024年3月期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日、以下「当四半期（累計）」といいます。）におけるわが国の経済は、経済社会活動の正常化に伴い、景気は緩やかに回復しつつあります。その一方、長期化するウクライナ情勢による資源・資材価格の高騰や、世界的な金融引き締めによる海外景気の下振れリスクに、円安進行による物価の上昇や中東情勢の緊張が加わり、先行きは極めて不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当四半期（累計）の連結業績は、コロナ禍から飲食事業や映画興行事業が回復してきたことや、中古マンション再生販売事業の営業活動エリア拡大により売上高は8,775百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は211百万円（前年同期比98.1%増）となりました。しかし新型コロナウイルス感染症に伴う助成金収入が減少したこと等から経常利益は231百万円（前年同期比42.4%減）、飲食店2店舗の立退きに伴う受取補償金134百万円を特別利益に計上したことから親会社株主に帰属する四半期純利益は282百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

■連結経営成績（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
売上高	7,925	8,775	+849
営業利益	106	211	+104
経常利益	401	231	△170
親会社株主に帰属する四半期純利益	389	282	△106

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

■セグメント別外部売上高（百万円）

売上高	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	1,794	1,909	+114
飲食関連事業	2,386	2,758	+372
不動産関連事業	3,744	4,107	+362
計	7,925	8,775	+849

■セグメント別営業損益（百万円）

営業利益	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	△31	△5	+25
飲食関連事業	△116	124	+240
不動産関連事業	607	484	△122
調整額	△352	△391	△38
計	106	211	+104

<映像関連事業>

(映画興行事業)

『RRR』『福田村事件』『君たちはどう生きるか』が高稼働するなど好調に推移し、前年同期比で増収となりました。

当四半期末の映画館数及びスクリーン数は、前年度末と同じ8館21スクリーンです。なお2024年2月29日に「新所沢レッツシネパーク」が閉館する予定です。

(映画制作配給事業)

当四半期（累計）は『それいけ！アンパンマン ロボリィとぼかぼかプレゼント』など7作品を配給いたしました。当四半期（累計）は前記『それいけ！アンパンマン』や、前年度公開の『ロストケア』等が高稼働いたしましたが、全体的にヒット作に恵まれず、配給収入は前年同期を下回りました。その一方で、出資作品の配分金収入が前年同期を上回ったことから、前年同期比で増収となりました。

(ソリューション事業)

景気の回復とともに、屋外広告等の受注が増加したことや、渡航制限解除により海外取材のテレビ番組制作が再開し前年同期比で増収となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は1,909百万円（前年同期比6.4%増）となり、営業損失は5百万円（前年同期は営業損失31百万円）となりました。

<飲食関連事業>**(飲食事業)**

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、客足が本格的に回復してきたことに加えて、インバウンド需要の増加や宴会需要が徐々に戻り始め、前年同期比で増収となりました。

■飲食店の店舗数

	前年度末	当四半期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	37	37	0
都内ダイニング&バー	4	4	0
その他	4	5	+1
飲食店 合計	45	46	+1
販売店 合計	4	4	0

※2023年9月13日に「レストラン西洋銀座」が開店いたしました。

以上の結果、飲食関連事業の売上高は2,758百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益124百万円（前年同期は営業損失116百万円）となりました。

<不動産関連事業>**(不動産賃貸事業)**

都内の賃貸オフィス市場の厳しさが増す中で、きめ細かいリーシング活動により賃貸物件が100%近い稼働率を維持し、前年同期並みの売上高となりました。

(中古マンション再生販売事業)

2023年7～9月期の首都圏の中古マンション市場における成約件数は9四半期ぶりに前年同期を上回り、成約価格も2012年10～12月期から44四半期連続で前年同期を上回りました。一方、新規登録件数が3四半期連続で前年同期比2ケタ増となり、在庫水準は増加傾向にあります。そのような中、当事業は、前第4四半期に開設した関西支社が営業活動を開始したことで、販売単価は前年同期並みとなりましたが、販売件数が増加し前年同期比で増収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は4,107百万円（前年同期比9.7%増）となりましたが、中古マンション再生販売事業の利益率低下により、営業利益は484百万円（前年同期比20.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明**①資産負債及び純資産の状況****(資産の部)**

資産合計は、前年度末と比べて786百万円増加し、24,368百万円となりました。これは、販売用不動産が675百万円減少したこと、商品が76百万円減少したこと、現金及び預金が492百万円増加したこと、流動資産その他が585百万円増加したこと、投資有価証券が507百万円増加したこと等によるものです。

(負債の部)

負債合計は、前年度末と比べて252百万円増加し、11,848百万円となりました。これは、繰延税金負債が152百万円増加したこと、前受金が84百万円増加したこと等によるものです。

(純資産の部)

純資産合計は、前年度末と比べて533百万円増加し、12,520百万円となりました。これは、利益剰余金が210百万円増加したこと、自己株式の取得31百万円を行ったこと、その他有価証券評価差額金が351百万円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前年度末より559百万円増加し2,799百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は843百万円（前年同期は136百万円の支出）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益357百万円、減価償却費の調整158百万円、棚卸資産の増減額730百万円、その他の資産の増減額△605百万円となったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は155百万円（前年同期は10百万円の支出）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出168百万円、無形固定資産の取得による支出47百万円、定期預金の払戻による収入67百万円となったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は128百万円（前年同期は694百万円の支出）となりました。この主な要因は、長期借入による収入540百万円となったこと、長期借入金の返済による支出678百万円となったこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に「2023年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,342,854	2,835,423
受取手形、売掛金及び契約資産	752,731	703,122
商品	352,350	276,165
販売用不動産	2,570,206	1,894,696
貯蔵品	28,293	30,326
その他	1,071,652	1,656,983
貸倒引当金	△824	△2,504
流動資産合計	7,117,264	7,394,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,759,849	3,720,051
機械装置及び運搬具（純額）	17,760	11,031
工具、器具及び備品（純額）	224,971	227,244
土地	9,662,030	9,662,030
リース資産（純額）	1,357	1,153
建設仮勘定	—	27,012
有形固定資産合計	13,665,969	13,648,523
無形固定資産		
借地権	34,237	34,237
ソフトウェア	21,328	26,406
その他	35,895	35,895
無形固定資産合計	91,461	96,539
投資その他の資産		
投資有価証券	2,157,598	2,664,776
差入保証金	396,359	401,719
繰延税金資産	64,356	70,581
その他	114,217	123,090
貸倒引当金	△25,000	△31,187
投資その他の資産合計	2,707,532	3,228,980
固定資産合計	16,464,963	16,974,043
資産合計	23,582,227	24,368,257

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,149,840	1,116,044
短期借入金	87,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,301,083	1,408,708
リース債務	1,606	665
未払金	601,055	675,071
未払法人税等	47,569	100,095
前受金	127,813	212,511
賞与引当金	201,891	240,260
その他	636,445	517,600
流動負債合計	4,154,307	4,470,957
固定負債		
長期借入金	3,713,382	3,467,658
リース債務	1,021	808
長期未払金	1,414	1,228
長期預り保証金	796,458	799,151
繰延税金負債	624,698	776,904
再評価に係る繰延税金負債	850,717	850,717
退職給付に係る負債	1,004,888	1,020,511
資産除去債務	448,495	460,260
固定負債合計	7,441,075	7,377,240
負債合計	11,595,382	11,848,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,737,647	3,737,647
利益剰余金	2,480,855	2,691,263
自己株式	△1,077,385	△1,108,818
株主資本合計	9,693,757	9,872,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	369,293	721,216
土地再評価差額金	1,882,373	1,882,373
その他の包括利益累計額合計	2,251,666	2,603,589
非支配株主持分	41,421	43,737
純資産合計	11,986,845	12,520,059
負債純資産合計	23,582,227	24,368,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,925,681	8,775,152
売上原価	5,759,045	6,348,946
売上総利益	2,166,636	2,426,206
販売費及び一般管理費		
役員報酬	116,892	118,965
広告宣伝費	13,188	19,551
人件費	1,072,653	1,074,539
賞与引当金繰入額	106,027	168,094
退職給付費用	48,552	35,635
賃借料	158,050	154,406
水道光熱費	85,862	89,178
貸倒引当金繰入額	2,288	7,867
その他	456,158	546,083
販売費及び一般管理費合計	2,059,675	2,214,323
営業利益	106,960	211,883
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	36,100	39,802
助成金収入	226,372	—
貸倒引当金戻入額	48,788	—
その他	11,758	6,908
営業外収益合計	323,030	46,720
営業外費用		
支払利息	24,183	23,254
借入関連費用	2,383	3,567
その他	1,605	267
営業外費用合計	28,172	27,088
経常利益	401,819	231,516
特別利益		
受取補償金	—	134,786
資産除去債務戻入益	44,929	—
特別利益合計	44,929	134,786
特別損失		
固定資産除却損	12,924	7,903
事業所閉鎖損失	10,251	893
特別損失合計	23,176	8,796
税金等調整前四半期純利益	423,572	357,505
法人税、住民税及び事業税	62,796	81,973
法人税等調整額	△32,808	△9,388
法人税等合計	29,988	72,584
四半期純利益	393,584	284,921
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,295	2,316
親会社株主に帰属する四半期純利益	389,288	282,605

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	393,584	284,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,565	351,923
その他の包括利益合計	△12,565	351,923
四半期包括利益	381,018	636,844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	376,723	634,528
非支配株主に係る四半期包括利益	4,295	2,316

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	423,572	357,505
減価償却費	160,217	158,538
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△46,499	7,867
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△875	38,368
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,569	15,622
受取利息	△9	△10
受取配当金	△36,100	△39,802
助成金収入	△226,372	—
支払利息	24,183	23,254
固定資産除却損	12,924	7,903
資産除去債務戻入益	△44,929	—
商品評価損	3,803	18,883
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△322,998	730,778
売上債権の増減額 (△は増加)	△334,122	49,609
仕入債務の増減額 (△は減少)	210,274	△33,796
その他の資産の増減額 (△は増加)	△183,887	△605,088
その他の負債の増減額 (△は減少)	7,894	121,046
小計	△345,356	850,681
利息及び配当金の受取額	36,110	39,812
助成金の受取額	268,439	5,094
利息の支払額	△24,295	△21,452
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△70,984	△30,354
営業活動によるキャッシュ・フロー	△136,086	843,782
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△113,783	△168,454
無形固定資産の取得による支出	—	△47,895
定期預金の払戻による収入	65,000	67,000
その他の収入	49,178	4,971
その他の支出	△11,174	△10,884
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,778	△155,261
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	128,000	113,000
社債の償還による支出	△200,000	—
長期借入れによる収入	270,000	540,000
長期借入金の返済による支出	△687,380	△678,099
リース債務の返済による支出	△9,857	△1,154
自己株式の取得による支出	△122,289	△31,433
配当金の支払額	△73,437	△71,265
財務活動によるキャッシュ・フロー	△694,964	△128,951
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△841,829	559,569
現金及び現金同等物の期首残高	3,565,141	2,239,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,723,312	2,799,423

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。